



毎日が天体ショー

校長 手代木 英明

今年の夏休みの計画はできましたか。「夏休み号」の2～3ページには、いろいろなコンクールのお知らせがあります。「学年便り」には、それぞれの学年で取り組む課題が出ています。ぜひ、チャレンジさせてください。

そして、今年も夏休みの自由研究(2～6年)に対して「校長賞」を選びます。不思議に思ったことや興味をもったことをテーマに本や図鑑で調べたことを基にして、実際にやってみることが大切です。やったことだけでなく「自分の考え」が書いてあれば合格です。子どもたちが、この夏休みに不思議に思っていることについて、じっくりと考えて、調べられるように応援してください。

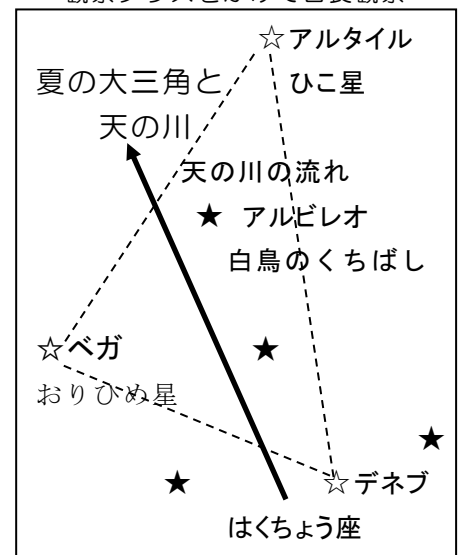
この写真は、平成24年(2012)5月21日の金環日食の観察会の様子です。テレビで大きく報道されましたから、前任校(鹿浜第一小学校)の校庭には早朝にもかかわらず600人以上の人が集まり、観察会をしました。こんな大イベントは滅多にありませんが、この夏休みの星空の話題といえば「火星とさそり座のアンタレス」が近づき、赤さを競い合うことです。さそり座の1等星アンタレスの名前は、「火星に対抗するもの」という意味です。その名のとおりこの夏は二つの星が明るさや赤さを競い合っているように見えます。5月末に地球に最接近した火星は、とても明るく街灯と間違えるくらい目立ちます。また、二つの星の左には土星も見えます。火星や土星などの地球の仲間の太陽系の惑星は、東京でも見えますからお子さんと夜空を眺めて「火星とさそり座のアンタレスのどちらが赤いか?」と話し合ってみてください。さそり座は、南の低い空に見えます。

旅行に出かけて日が沈んだら、東寄りの高い空に「夏の大三角」を見つけてください。「夏の大三角」は、こと座のベガ(おりひめ星)、わし座のアルタイル(ひこぼし)とはくちょう座のデネブです。おりひめ星とひこ星の間には、天の川が流れています。川の流れの方向に白鳥が羽を広げて飛び立とうとしています。

天の川が見える所は、光害のない恵まれた地域です。5年富山臨海学園、6年那須自然体験教室では、子供たちと一緒に観察してこようと考えています。身近な自然の美しさに気づき、感動できる子を育てていきたいと思えます。



観察グラスをかけて日食観察



親子で省エネ・エコに取り組みましょう



今年も、青少年対策西原地区委員会主催の「にしはらエコ大賞」作品募集があります。まず、この夏に家庭でできる省エネ・エコを考えて実施しましょう。そして、その取組を川柳や俳句にして、学校に提出してください。西原小、代々木中の省エネ・エコ活動の効果は小さなものですが、作品で世界にアピールすれば大きな力になるはずですよ。優秀作品は、10/16(日)ふるさと祭りで表彰されます。